

§ 協会の動き（平成24年9・10月分）

☆ 平成24年度 災害復旧対策講習会の開催

（事故防止対策委員会事業）

事故防止対策委員会では、協会で作成している『災害実働マニュアル』の見直し及び防災に関する知識習得のため、当講習会を毎年開催しております。

今回は、9月14日に埼玉建産連研修センター3階大ホールにて行いました。

内容としては、1部「埼玉県の防災対策について」

2部「東日本大震災の被害状況と現状、今後の備えについて」

3部「災害時の実働体制について」という3部構成で実施いたしました。

1部では、県の消防防災課担当者様に東日本大震災を教訓に従来の想定方法を見直した点を重点的にお話いただきました。2部では、震災直後に自ら被災地に入り電気設備の復旧作業に携わった方に経験談を中心に今後の備えについて具体的にお話いただきました。3部では、協会事務局長より災害時の実働体制について説明をいたしました。



☆ 1級電気工事施工管理技術検定試験 受験準備講習会（実地コース）実施

（技術研究委員会事業）

平成24年度1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会（実地コース）を9月12日、19日、26日の3日間に亘っての日程で実施しました。

定員20名の枠は直ぐに一杯になり、受講生たちは本試験に向け真剣に講習に取り組んでいました。

試験は10月21日、合否の発表は来年、平成25年2月1日となります。



☆ 平成24年度営業関係者セミナーの開催

(企業対策委員会事業)

10月23日(火)15:00から、さいたま市民会館うらわ503・505会議室で行いました。

当セミナーは東日本建設業保証(株)埼玉支店様との共催で実施いたしました。

本編では『明日からすぐに使える実践営業術～中小建設業こそ営業「技術」でライバルに差をつけよう～』をテーマに(株)建設経営サービス 打尾貞治氏からご講演いただきました。

公共工事や下請受注が多い中小建設業においては、まだまだ営業業務に十分な人材や時間を投入している企業が少ないのが実情で、営業は会社の根幹を担う一番重要なテーマであるはずなのに、なぜか施工管理や原価管理のように決まったノウハウをきっちり体系化して指導している企業は少ない。営業は「技術」であり、営業を技術として社員に指導し、行動が出来ている建設業者は業績拡大を着実に達成している例を挙げて、明日からすぐに使える実践ノウハウをわかりやすく解説していただきました。

参加者は配布された資料にメモをとり、熱心に受講していました。

セミナー終了後は、会員企業の営業関係者を対象に懇親会を開催し、支部を超えた会員間交流を活発に行いました。

